

# 令和7年度 福井県立ろう学校スクールプラン

校 訓	自主…自分で考える子      敬愛…思いやりのある子      希望…大きな夢を持つ子
教育目標	<p>聴覚に障がいのある幼児児童生徒に対し、その心身の発達と能力・特性に応じた教育の実践を通して、社会人として自立するための基盤を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>心豊かで克己心の強い人間を育成する。</li> <li>敬愛の精神と豊かな知性を備えた人間を育成する。</li> <li>責任を重んじ自主性や社会性を備えた人間を育成する。</li> </ol>

令和7年度の 教育方針	<p>研究テーマ「主体的に課題と向き合い、解決しようとする力を育む聴覚障がい教育 ～聴覚障がいの特性に配慮した支援や言語環境の充実～」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>言語力・コミュニケーション力の育成 一人一人の実態やニーズに応じた言語力・多様な手段を活用したコミュニケーション力の育成</li> <li>主体的・協働的な学びの推進 自ら考え主体的に学ぶ授業づくり、地域の資源や人材を活用した学習活動の推進</li> <li>多様な状態像への対応力向上 重複障がいや発達障がい等を併せ有する幼児児童生徒への理解と対応力の向上</li> <li>専門性・指導力の向上 OJTによる専門性の継承、校内専門研修の内容・方法等の検討や工夫、ICTの活用</li> <li>学校内外の聴覚障がい児に対する切れ目ない支援の推進 校内および関係機関との連携により将来を見据えた個々の学びと支援をつなぐ</li> </ol>	学校業務改善のための取組
		人権教育の推進

行事・業務等の精選や会議の効率的な運営、教職員からの改善策の提案などにより業務改善を図る。

人権研修や幼児児童生徒に関する情報共有を通して、いじめ防止を含めた教職員の人権意識の向上を図る。自己理解や他者理解を促す指導などを通して、児童生徒の障がい認識を育む。

## 重点目標

教育課程・学習支援	教育課程・学習支援 児童支援	教育課程・学習支援 生徒支援・進路支援	生活支援	センター的機能	教職員の専門性及び授業力の向上
幼稚園部	小学部	中・高等部	舎務部	教育支援部	学校全体
<p>幼児の発達に応じた言語力やコミュニケーションの力を育て、主体的に考え学びのある授業実践を行う。</p>	<p>児童が自ら必要な情報を得ようとする力や考える力を身に付けるための授業実践を行う。</p>	<p>自ら問いや課題を見付け、主体的に解決する力を育てる。</p>	<p>集団生活をとおして、主体的に協働するためのコミュニケーション力を高める</p>	<p>関係機関と連携・協力し、早期からの切れ目ない難聴児支援に努める。</p>	<p>①教員同士の学び合いを通して「主体的・対話的・深い学び」のある授業づくりに取り組む。 ②分かる授業づくりにおいてICT機器の活用力を上げる。 ③幼児児童生徒に確実に伝わるように多様な伝達手段を活用する。</p>
具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組
<p>朝の話し合い活動を通して、幼児の考える力を育てるための環境設定や教師の関わり方を工夫する。</p> <p>目標：定期的に授業検討会を実施し、授業改善に取り組む。 80%以上</p>	<p>児童に情報を得ようとする力や考える力を身に付けるさせるために、きこえや特性に応じた支援を工夫する。</p> <p>目標：児童のきこえや特性に応じた支援方法や学習活動について検討し、実践する。 80%以上</p>	<p>授業を通して生徒が問いや課題を見付け、解決する姿勢・態度が身に付くように支援する。</p> <p>目標：生徒が問いや課題を見付け解決できるように支援する。 80%以上</p>	<p>寄宿舎生活の中で話し合いを必要とする場面において、自分の思いを伝え、相手の気持ちを汲み取る力が付くよう支援する</p> <p>目標：寄宿舎生が自分の思いを伝え、相手の気持ちを汲み取る力が付くよう支援する。 80%以上</p>	<p>各機関と連携し、難聴児に適切な支援や教育相談活動を行う。</p> <p>目標：各機関と連携・協力し、支援する。 80%以上</p>	<p>①専門性チェックリストを活用しながら積極的に授業参観し、感想や意見を伝え合う。 目標：授業参観を年に4本（うち他学部を2本）、寄宿舎指導員は2本以上行い、感想等を伝える。80%以上</p> <p>②ICT機器を効果的に活用し、自分の授業づくりに生かす。 目標：子どもの個々の実態に合わせてICT機器を活用した授業や活動を行う。80%以上</p> <p>③学校生活全般において、手話や文字や画像などの多様な視覚情報を提示する。 目標：子どものニーズに応じた手段を用いて情報保障を行う。 80%以上</p>